

第7回教育委員会（定例）議事録

1 開 会

令和3年9月8日（水） 14時00分

2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301.302会議室

3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊

委 員 西田 正志

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

4 会議に出席した職員

部長（学校教育担当） 稲山 悟

部長（生涯教育担当） 小林 康弘

次 長 西羅 忠和

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学事課長 山本 毅

学校教育課長 岸田 幸雄

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

こども未来課長 竹見 朋子

社会教育課長 谷掛 昭二

文化財課長 村上 由樹

中央図書館長 小島 理三

田園交響ホール館長 小林 純一

総務課長 河南 剛

中央公民館長 大路 和浩

教育研究所副所長 大野 圭一

教育総務課係長 田中 真紀子

5 議事日程及び議案

別紙の通り

6 開会宣言

14時00分

7 会 期

（自）令和3年9月8日

（至）令和3年9月8日 1日間

8 会議録署名委員名簿

中村 貴子 委員

9 閉 会

15時05分

丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>日程第 1、令和 3 年度第 6 回会議録の報告、承認について意見等はないか。 異議なし。</p> <p>全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p>
丹後教育長	<p>日程第 2、会議録署名委員は 1 番中村委員とする。</p>
丹後教育長	<p>日程第 3、会期は令和 3 年 9 月 8 日、本日 1 日間とする。</p>
丹後教育長	<p>日程第 4、議案に移る。議案第 11 号の『「令和 2 年度実績 教育委員会の点検・評価」について』教育総務課説明を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
西田委員	<p>教育委員や外部有識者の意見を勘案して、今日この内容で「点検・評価」とするということで議決するのか。</p>
中野課長	<p>そのとおりである。</p>
西田委員	<p>成果指標について、以前は数値目標を立てて点検・評価をしていたが、その数値にこだわりすぎたので、数値目標は取り下げようという流れになり、現在の目標や成果指標設定に至っている。外部有識者にその経緯がうまく伝わっていないのではないか。伝わっていないから数値目標の設定が必要であると言われてるように思うが、事務局はどのように考えるのか。</p>
中野課長	<p>外部有識者からは明確な指標を示すようにというご意見は頂戴している。当市としても今までの経緯のなかで、数値で表せない教育的効果もあるので数値以外での表記もしているということを外部有識者にも伝えている。今後については、数値化できるものは数値化し、数値で表せないものは目標値を定めずに方向性であるような目標値で進めていきたいと考えている。</p>
西田委員	<p>その方針が良いと思う。方針を変更するのであれば年度当初に職員への周知し意識統一をしておかないと現場が混乱する。</p>
丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>議案第 11 号の『「令和 2 年度実績 教育委員会の点検・評価」について』採決をする。異議はないか。</p> <p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、議案第 11 号の『「令和 2 年度実績 教育委員会の点検・評価」について』原案どおり可決する。</p>
丹後教育長	<p>日程第 5、承認事項に移る。承認第 7 号、「令和 3 年度 9 月補正予算案の市長への提案について」、教育総務課説明を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>

西田委員 西羅次長	<p>教育アドバイザー山脇氏の現職は何か。</p> <p>現在は職に就かれていない。山脇氏の経歴をご紹介する。1959年丹波篠山市西町生まれ、現在62歳である。2020年8月1日文部科学省を退官された。北海道大学元教授でもられる。県立篠山鳳鳴高校卒業後、東京大学工学部、東京大学大学院工学系研究科を卒業され、科学技術庁入庁された。その後種々のご経験をされ、2014年に国際統括官をされ、本市がユネスコ創造都市に加盟する時にお世話になったこともある。その後2018年～2020年8月1日まで文部科学省審議官に就かれていた。</p>
丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>承認第7号、「令和3年度9月補正予算案の市長への提案について」異議はないか。</p> <p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、承認第7号、「令和3年度9月補正予算案の市長への提案について」を承認する。</p>
丹後教育長	<p>日程第6、報告事項に移る。報告1「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
山本委員	<p>名称がNHK学校向けコンテンツのワークショップということで、教職員の授業づくりに有効であると思う。丹波市での開催であるが対象者は誰か。また申請者はどのような団体なのか。</p>
田中係長	<p>ワークショップ対象者は丹波管内である。氷上情報教育研究会は、高度情報化社会に対応する児童の育成をめざし、情報教育の推進に寄与することを目的としている団体である。事業内容として、情報教育についての情報交換並びに研究、事業に使えるソフトの研究、アプリケーションソフトの技術講習、会報の発行等である。</p>
丹後教育長	<p>報告2「令和3年度全国学力・学習状況調査（5月27日）の結果について」教育研究所報告を求める。</p>
大野副所長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
中村委員	<p>今朝の神戸新聞で三田市平均が全国平均を上回ったと記事が載っていた。こういう掲載をされると、市内の小中学校学力の底上げをしておかないと高校での市外流出問題につながるのではないかと少し懸念して見たところである。しかし記事をよく読むと、丹波篠山市の学力が劣っているわけではなく、本市も引き続き力をつけていっていることがわかる。記事にも掲載があった</p>

	<p>が、三田市のポイントは高いが、以前に比べると平均が縮まっている科目もあるようだ。本市学力も二極化が解消してきて評価できるものであると思う。説明にもあったが、分析するだけでなく、学校にできること、地域にできること、行政にできることを引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>本日午前中に GIGA スクールの研修を受けた。そこで教わった「アダプティブラーニング～一人一人の習熟度が分析して可視化され、それに応じた課題が出されるというもの～」であるが、個人の目的に応じた活用で成果が上がる、透明性、見える化された学習、また学校の教育と家庭の教育が個人に応じたもの、それが成果に繋がればいいなと思った。</p> <p>引き続き、基礎力と学びへの好奇心、それから諦めない心、こういうことを踏まえて学ぶことが大事であるということを伝えていただきたい。</p> <p>国語の結果に「文章を書いたりすることについては課題があります。」と記載があるが、この課題はずっと続いている。市教委としてこのことをどう指導していくのか説明を求める。</p>
西田委員	
大野副所長	<p>同じ課題が続いているのではないかということについてはその通りである。</p> <p>教育研究所指導主事も校内研修に参加することが増えているが、授業を見ていると、少人数学級であるということもあり、例えば児童生徒が発表をしている時、途中で躓きそうになったら教員が助けを差し伸べてしまう様子も見られる。そこを児童生徒に最後まで話しきらせることも必要であると伝えたり、まずは発表前に自分の考えをノートに書いてみることは大事であると伝えたりしている。すぐに効果は出ないかもしれないが、こういうことを積み重ねながらやっていきたいと考える。</p>
西田委員	<p>生活習慣や学習環境等に関する調査で、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の結果が毎年高い結果であるが、丹波市はどうなのか。また、都市部と本市と比較してどうなのかわかれば教えてほしい。</p>
大野副所長	<p>市は全国と県の値は把握しているが、現時点で地区別の値は今わからない。県から提供ありしだいお知らせする。</p>
西田委員	<p>この値がとても高いが、それが昔からの伝統で当たり前になっているのではないかと思い始めた。これが他自治体にはない本市の特徴だとすれば、地域に恵まれているのは非常に幸せなことであるとか、その中でもっと自分の力を伸ばしていこうとか、そういう環境のもと地域で子どもを支えるということを考えていかなければいけないと思う。</p>
丹後教育長	<p>報告 3「令和 3 年度 9 月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。</p>
酒井次長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
中村委員	<p>コロナの第 5 波は児童生徒の感染が非常に強く、本市独自の思い切った策</p>

	も必要ではないかと感じる。早くからオンライン化も進めているので、できるだけ早く緊急事態にもオンラインで授業ができる方向にもっていただきたい。
丹後教育長	報告4『「丹波篠山農都のめぐみ WEEK（仮称）」に合わせた学校給食の提供について』学校給食センター報告を求める。
酒井所長	《議案書に基づき報告》
山本委員	子どもたちのために学校給食での色々な取組に感謝する。新米の提供については、令和2年度は1回の提供だったということであるが、今年度は複数回提供があるということなのか。
酒井所長	まず10月4日～8日の4日間と、さらに12月頃からは「農都のめぐみ米」の令和3年度新米を提供することになる。
山本委員	丹波篠山のブランド米の提供は、ただ美味しい給食を戴くといくことだけでなく、子どもたちが環境や地域との関わりなど色々なことを学ぶ機会になると思う。地産農家の方々のご苦労や、市全体で取り組んでいただいていることに感謝する。
丹後教育長	昨日は非常時を想定した非常時給食献立の日であった。給食として栄養価もあり味も良かった。非常時に出す長持ちするパンも食べ、非常時に対する意識も高まった。本市の学校給食は色々なことを子どもたちに伝える役割を果たしている。
丹後教育長	報告5「令和3年度中央公民館事業の実施状況について」中央公民館報告を求める。
大路館長	《議案書に基づき報告》
西田委員	ほとんどの事業が中止や一部変更して実施するなかで、各種実行委員会が主催である合同芸能発表会や観月園遊会は開催とあるが、開催にあたって条件なしでの開催なのか。
大路館長	現段階では開催の方向で案内をしているが、感染状況によっては中止をする場合もあるという案内をしている。状況によって各団体会長との協議をする。
西田委員	市主催ではないので中止をするべきということは難しいが、今の状況からは相当慎重に考えていただきたいと思う。
大路館長	感染防止対策を十分とったうえでの開催となる。従来ならお茶や茶菓子のふるまいもあるが、その内容を中止し、菓子も個別包装したうえでの持ち帰りなどとなる。芸能発表会については、展示は実施するが、ステージ発表は縮小や中止にするなど適切に判断していきたいと思っている。

垣内委員	<p>中止という事業について、いつ頃中止を決定して各自治会にどのように通知がされるのかを確認したい。市民体育祭はまだ中止の通知がされていない自治会もあると思う。中止が決まった時点で早めに通知をしたほうが良い。今後どのように通知をしていくのか。</p>
大路館長	<p>各事業によって異なるが、基本的には、役員会で決定しだい事務局や実行委員会等から通知をしている状況である。保留で最終決定がなされていないものは、ご指摘のとおり一部通知ができていないものもある。確実に周知するよう取り組んでいく。また、事業によっては市ホームページでの行事中止の周知も適宜行っている。</p>
丹後教育長	<p>報告 6「新型コロナウイルス感染防止に係る市の対応について」教育総務課報告を求める。</p>
中野課長	<p>《議案書に基づき報告》</p>
丹後教育長	<p>報告 7「教育長報告」について報告する。</p> <p>18 頁、教育長スケジュールのとおり、篠山養護学校訪問、八上小学校園訪問、城南小学校園訪問、大山小学校園訪問を実施した。子どもたちは制限が多い中での生活であるが、楽しそうにいきいきとして学ぶ姿を見て、この学びを止めてはいけなと強く思う。新聞報道を見ていると、他市では市教育委員会が学びを止めざるを得ないというものもあるが、本市ではできるだけ学びを止めないようにやっていく。感染予防に努めながら続けていきたいと思っている。</p> <p>定例校長会では、「学校を閉鎖するか続けるかについては、校長にとっては悩むことではあるが、非常にやりがいがある仕事でもある。しんどい部分もあるが教育者としての集大成の時期だと思ってやってほしい。」と伝えた。</p> <p>以上で教育長の報告とする。</p>
丹後教育長	<p>それでは、第 7 回定例教育委員会をこれで終了する。</p>